

平成30年3月22日  
産業経済局観光課

## 所管事務の調査

### 観光やMICEによる来訪者の消費喚起について

**資料1** 本市を訪れる外国人個人観光客の動向調査結果について

**資料2** 外国人個人観光客を対象としたアンケート調査  
・分析報告書（速報版）

# 本市を訪れる外国人個人観光客の動向調査結果について

## ◆調査目的

ビッグデータやアンケートデータを収集・分析し、外国人観光客の移動経路や嗜好を把握することで、今後のプロモーションや受地整備に活用するもの。

## ◆対象国・地域

韓国、台湾の個人観光客

## ◆調査概要

### 1. ビッグデータ分析

携帯電話のローミングデータやロコミデータ、宿泊予約データなどを解析し、移動経路や宿泊地などの分析を行った。

### 2. アンケート調査（調査員による対面聞き取り）

#### （1）九州を訪れた観光客に対する調査（北九州市・下関市を除く）

調査時期 平成29年9月～11月

調査場所 福岡空港

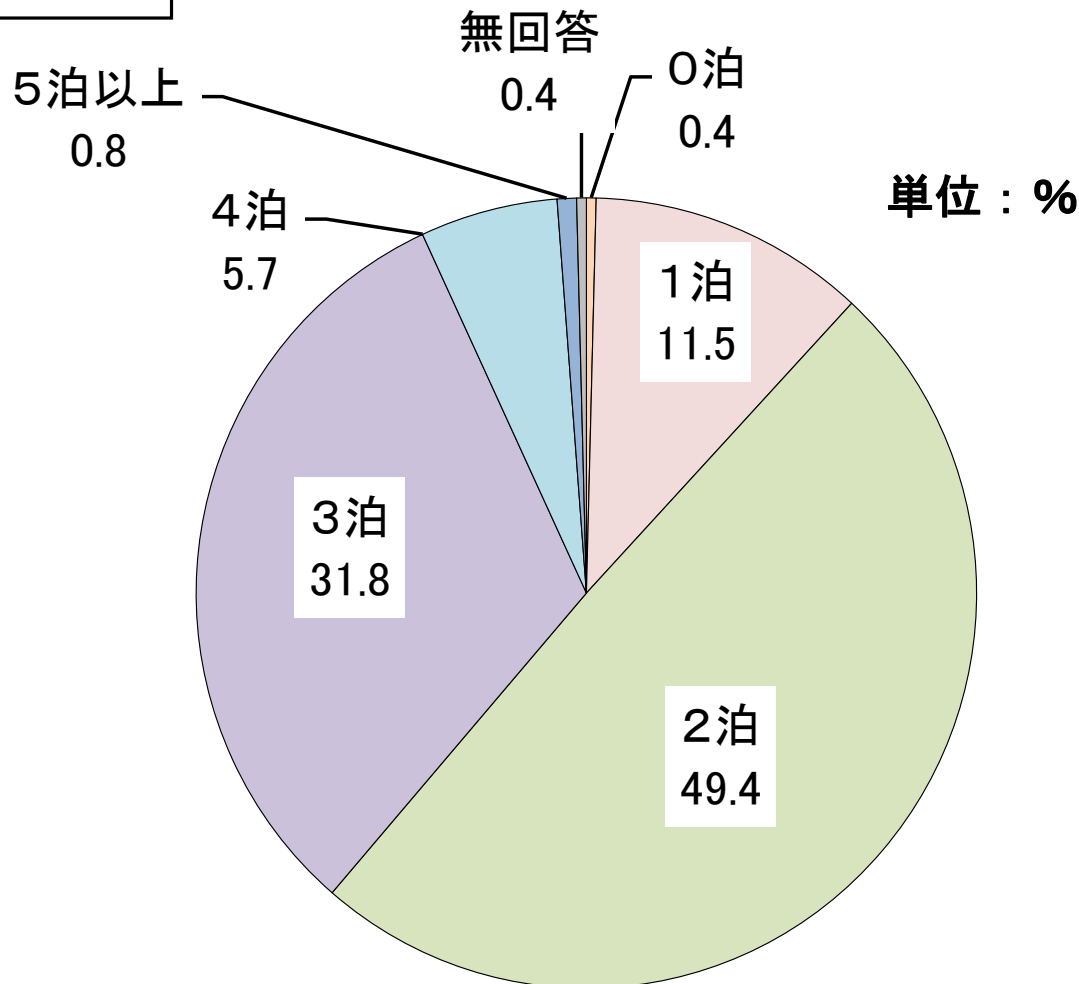
#### （2）北九州市・下関市を訪れた観光客に対する調査

調査時期 平成29年9月～平成30年1月

調査場所 福岡空港・北九州空港・小倉城周辺・唐戸市場

# 九州を訪れている韓国人個人観光客の動向 (北九州市・下関市を除く)

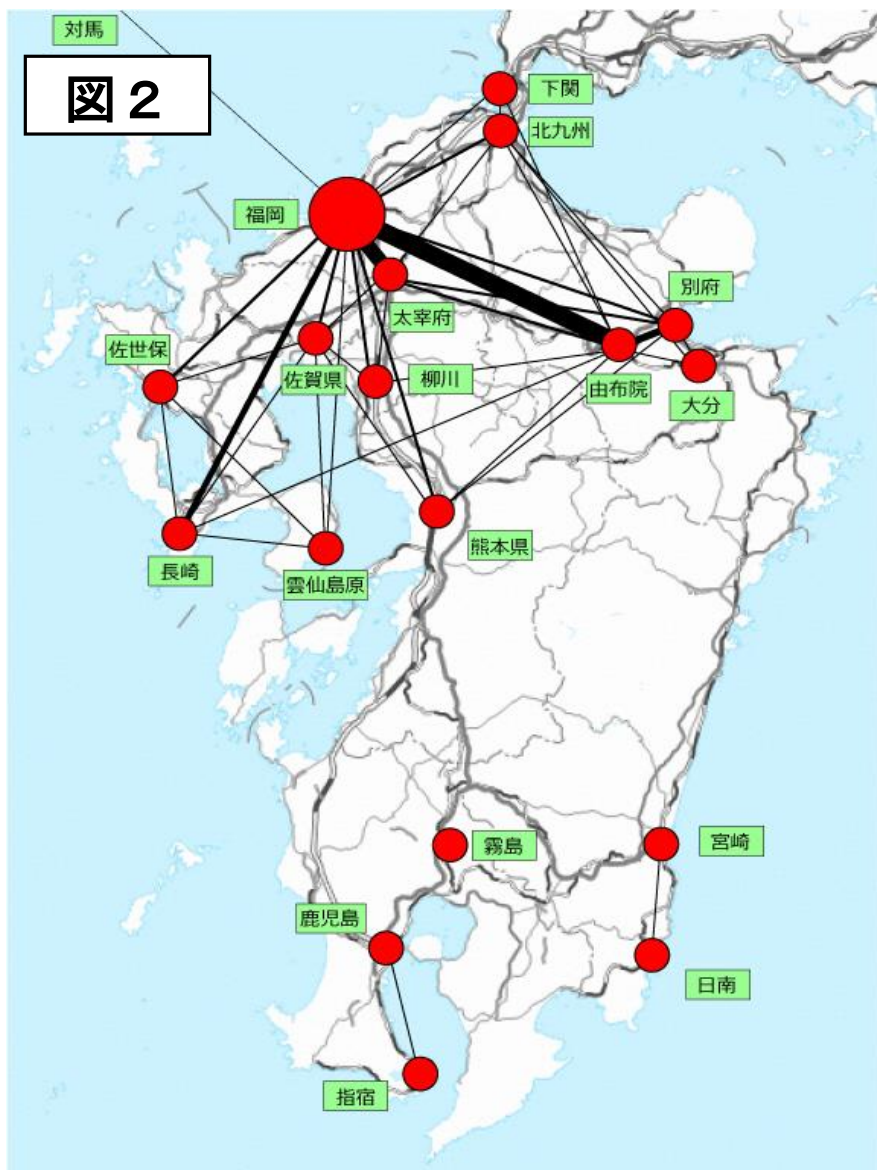
図 1



## 【平均宿泊日数】

- 韓国人個人旅行客の平均宿泊日数は 2.3泊
- 短期旅行が主流

# 福岡空港から入国する韓国人観光客の主要観光ルート



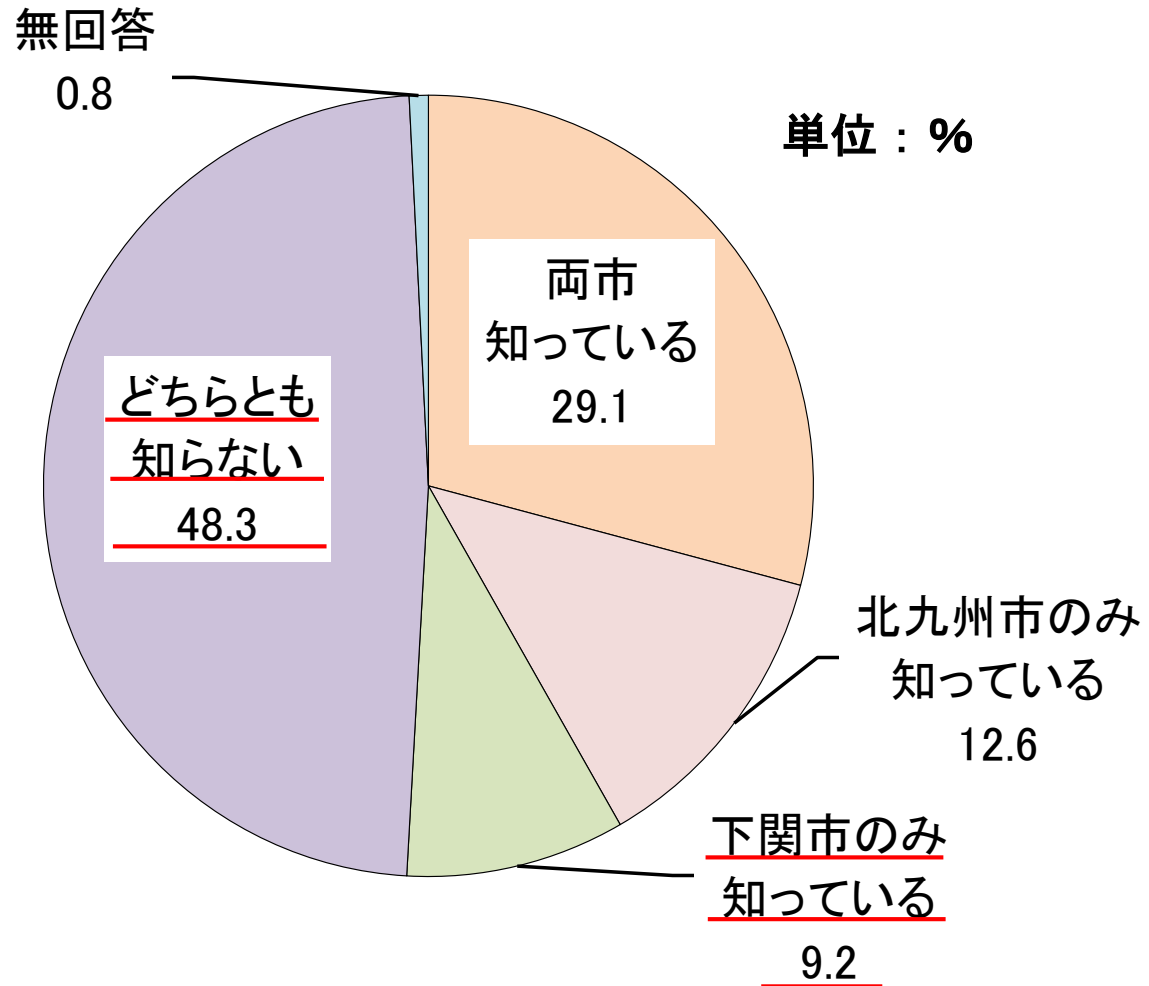
## 【主要観光ルート】

- 福岡都心部のみ
- 福岡都心部～由布院
- 福岡都心部～大宰府
- 福岡都心部～長崎県
- 福岡都心部～（由布院、大宰府、別府などの組み合わせ）

# 北九州市・下関市の認知度

(調査場所：福岡空港)

図 3



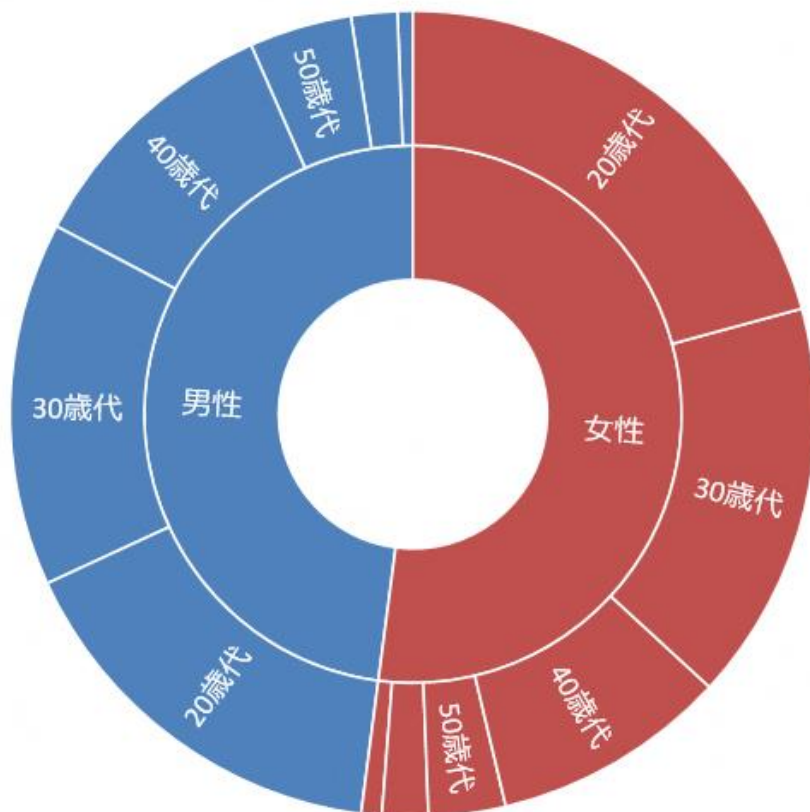
●本市を知らないが 57.5%

# 北九州市・下関市を訪れた韓国人観光客の属性

図 4

性別 × 年齢

■ 男性 ■ 女性



【年齢 × 性別】

- ① 20歳代女性 : 20.8%
- ② 20歳代男性 : 16.0%
- ③ 30歳代女性 : 16.0%
- ④ 30歳代男性 : 14.6%

# 九州及び北九州市・下関市への訪問回数

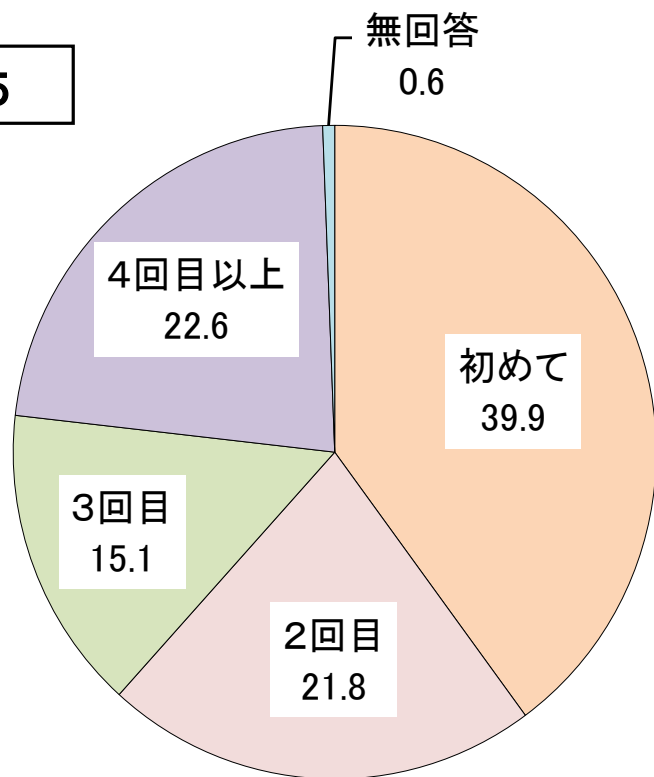
○九州への訪問

初めて：39.9%、2回以上：59.5%

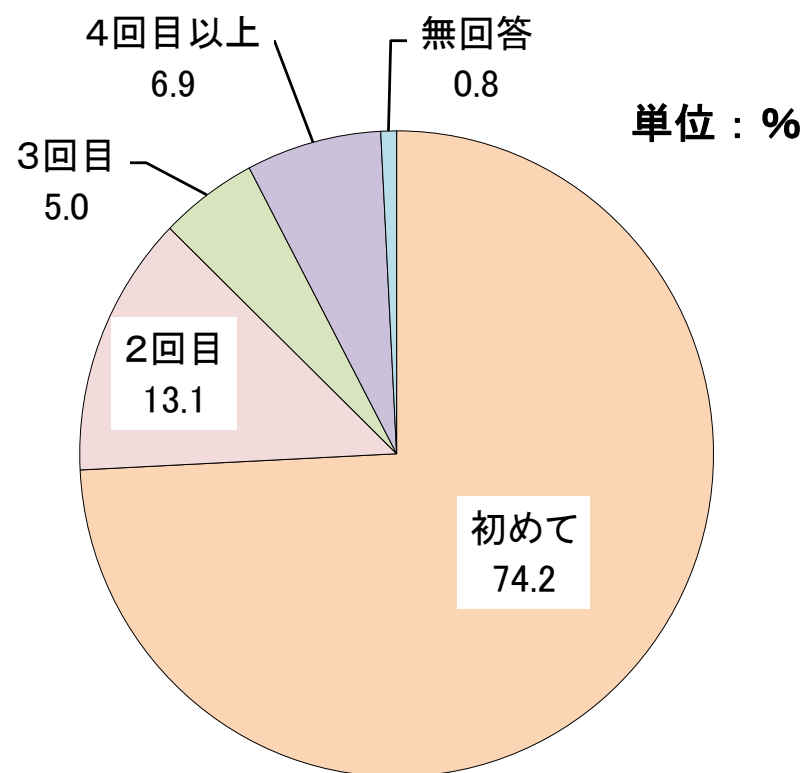
○北九州市・下関市への訪問

初めて：74.2%、2回以上：25.0%

図5



【九州への訪問回数】



【北九州市・下関市への訪問回数】

単位：%

# 北九州市・下関市における平均宿泊日数

表 1

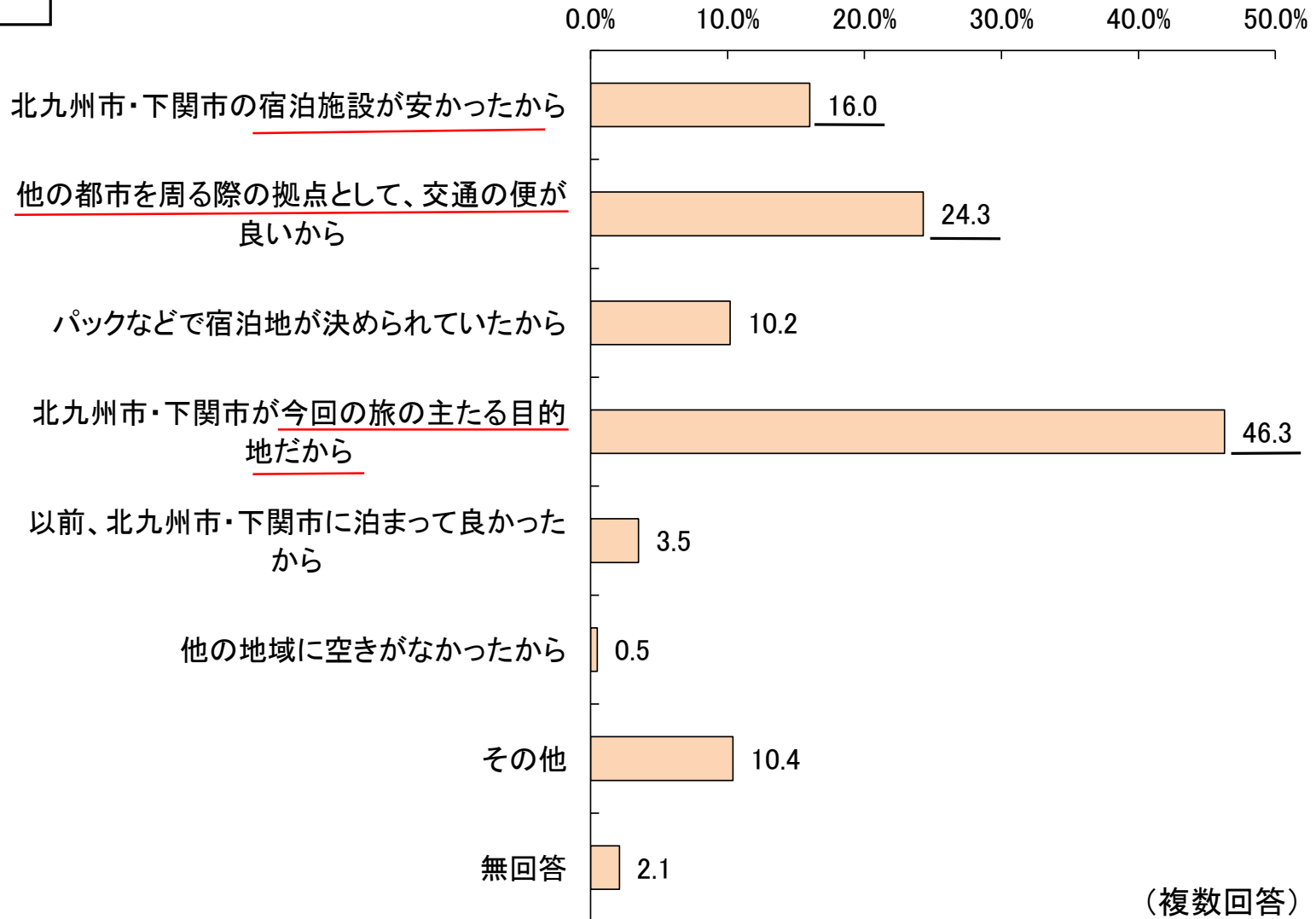
	平均宿泊日数 (0泊含む)
合 計 (福岡空港・北九州空港・下関港)	1. 4 4 泊
福岡空港から入国	<u>0. 6 5 泊</u>
<u>北九州空港から入国</u>	<u>1. 9 3 泊</u>

○福岡空港よりも、北九州空港から入国した観光客の方が、本市及び下関市への宿泊日数が長く、日帰り（0泊）も含めると、その差は顕著となっている。（宿泊率が高い）



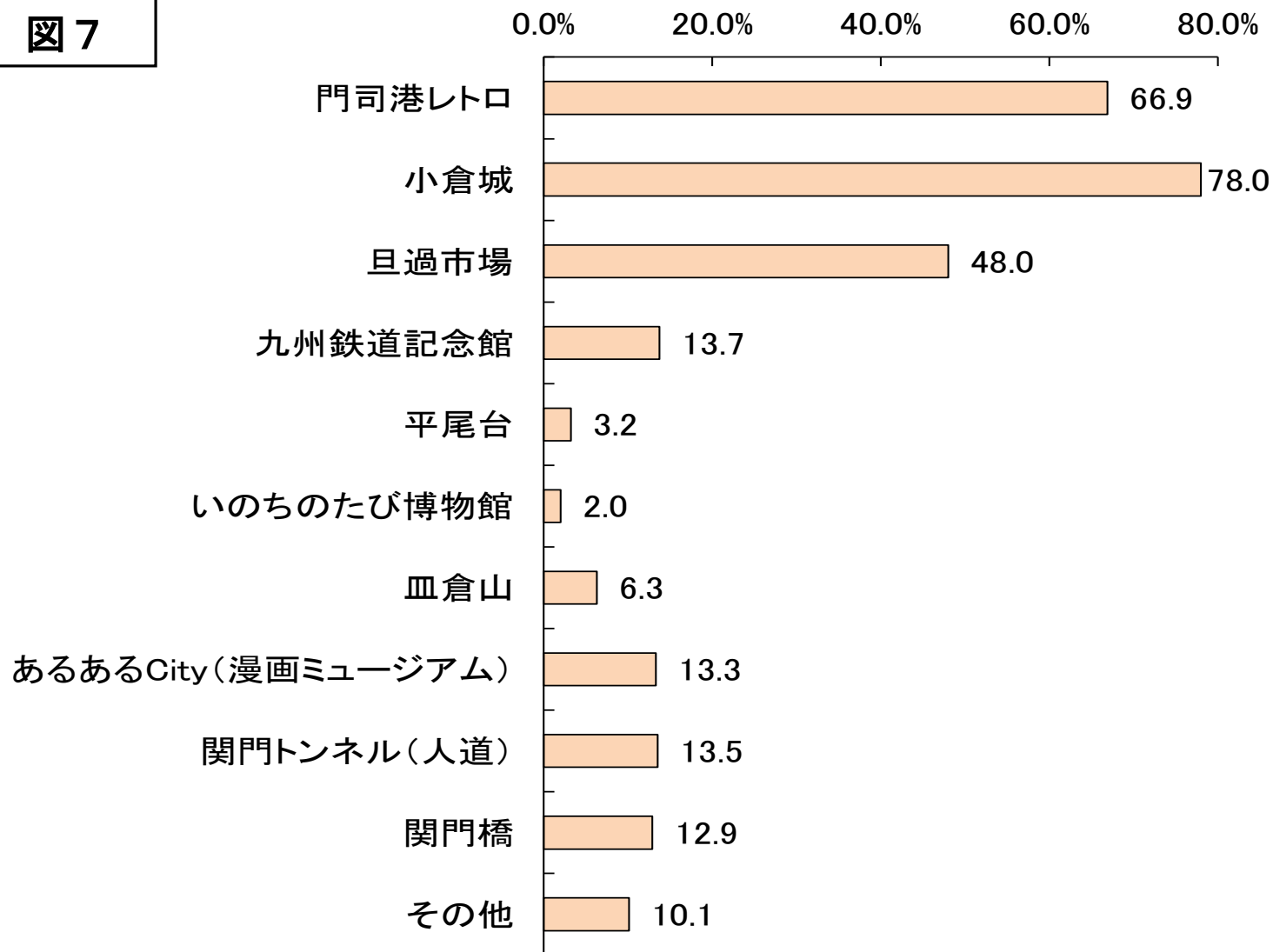
# 北九州市・下関市に宿泊した理由

図 6



# 今回の旅行で訪れた観光地（北九州市）

図7



(複数回答)

# 1人1回（旅行）あたりの旅行支出額（北九州市・下関市）

図8

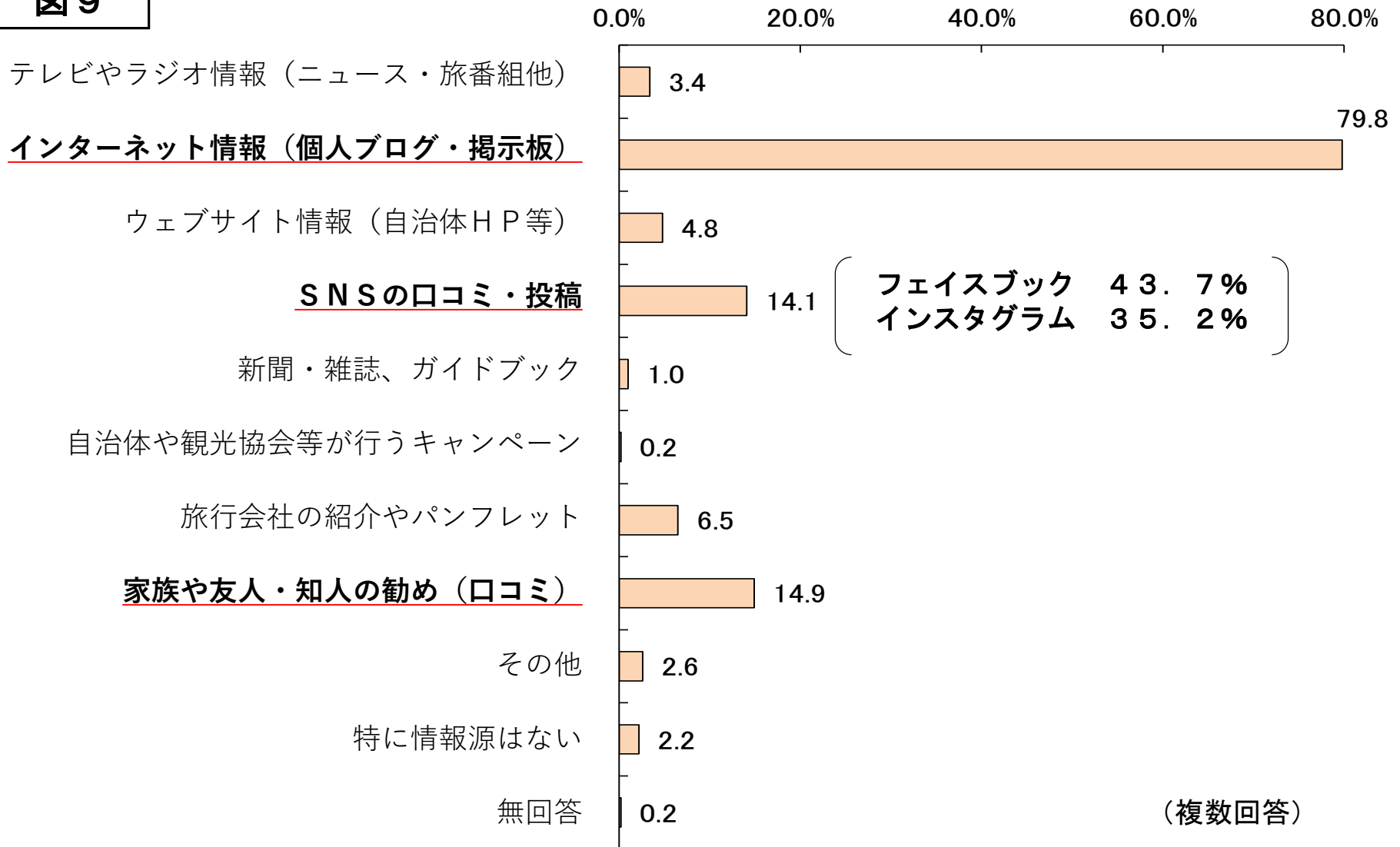
（単位：円）

	宿泊客	日帰り客	備考
宿泊費	14,393		
飲食費	12,165	5,681	
入場料	2,175	902	
買物・土産代	13,469	6,966	お菓子、化粧品など
その他の費用	3,127	703	
合計	45,329	14,252	

○北九州市・下関市を訪れる韓国人個人観光客の、1人1回あたりの旅行支出額は、宿泊客で45,329円、日帰り客は14,252円。

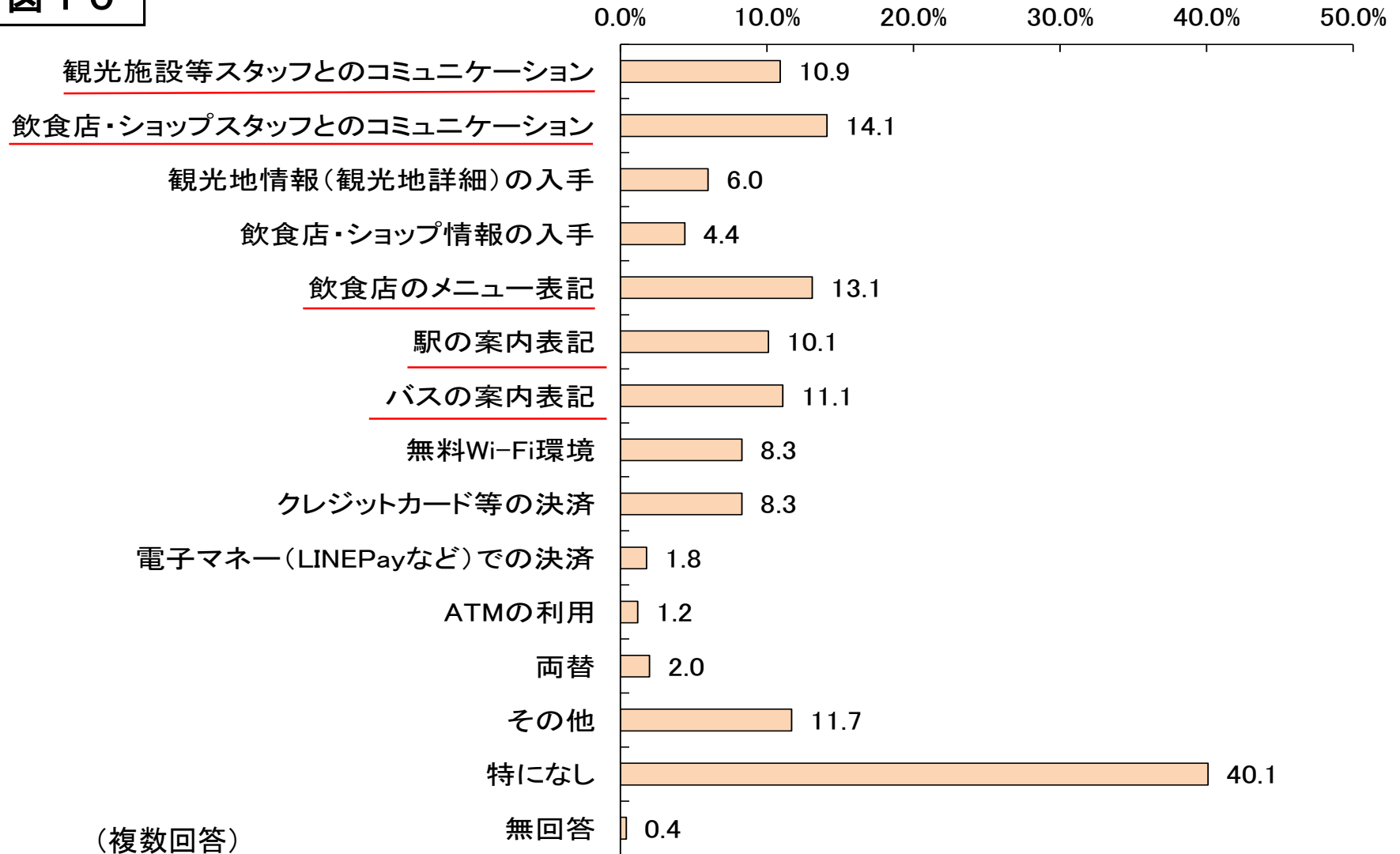
# 訪れる前の観光情報の入手先

図9



# 旅行中、不便だったこと

図10



# 韓国向けプロモーションと受地整備の方向性

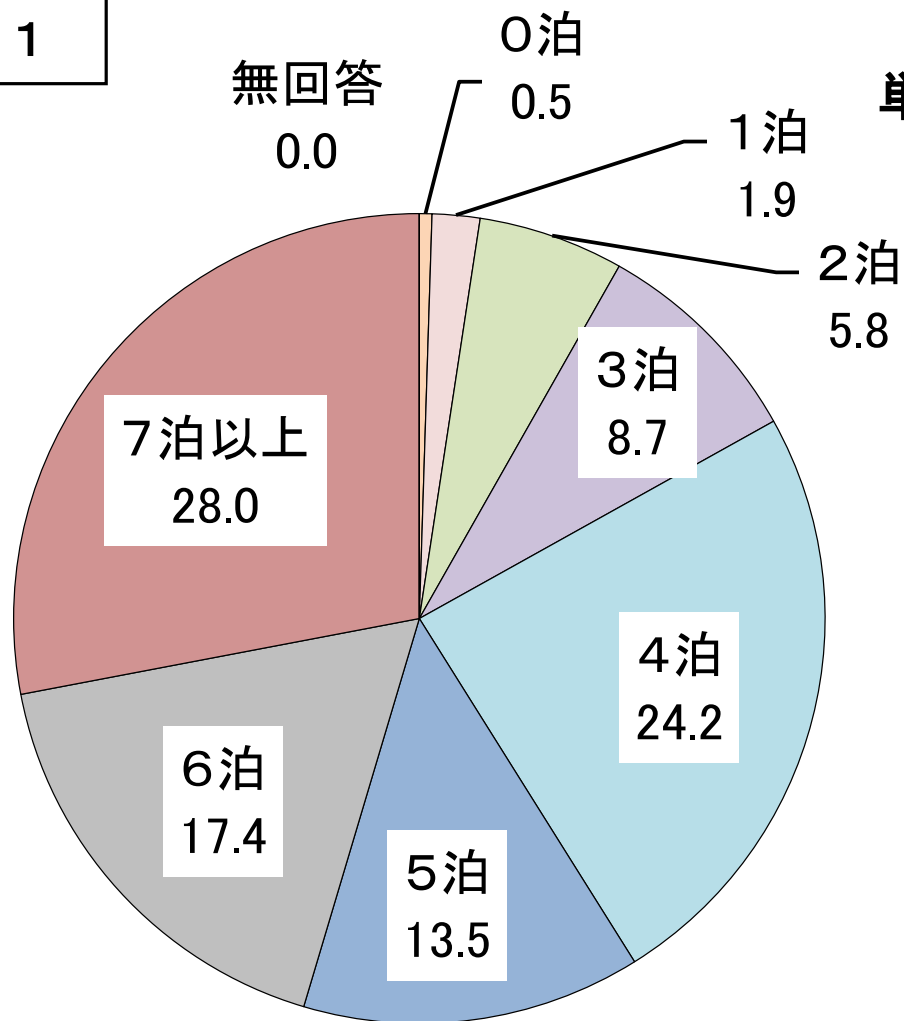
調査から分かったこと	今後の方向性
北九州空港を利用した観光客の宿泊率が高い。	北九州空港利用者をメインターゲット。航空会社と連携した取組を実施。
北九州市・下関市のみを周遊している観光客も多い。	両市内で完結するようなルートを提案し、本市連泊の増加を図る。
本市の認知度が低い。 現地において、個人ブログ、SNS等により観光情報を入手。	旅行社等の視察ツアーの実施や、効果的な情報発信により、認知度の向上を図る。 (参考) 旅行社へのセールス：延べ146社(28~29年度)
北九州市を初めて訪れる観光客が多い。	地域の隠れた魅力を発信し、リピーターの増加を図る。 (例) 商店街での買い物情報、イベント情報、ローカルフードや祭りなど、地域を深掘りできるような情報をこまめに発信。
観光施設や飲食店等で多言語対応に不便を感じる人が多い。	多言語案内や多言語メニューなどの受け入れ環境の整備

⇒ 「気軽に出かけられる 身近な街」へ

⇒ 「何度も出かけたい お気に入りの街」へ

# 九州を訪れている台湾人個人観光客の動向 (北九州市・下関市を除く)

図 1 1

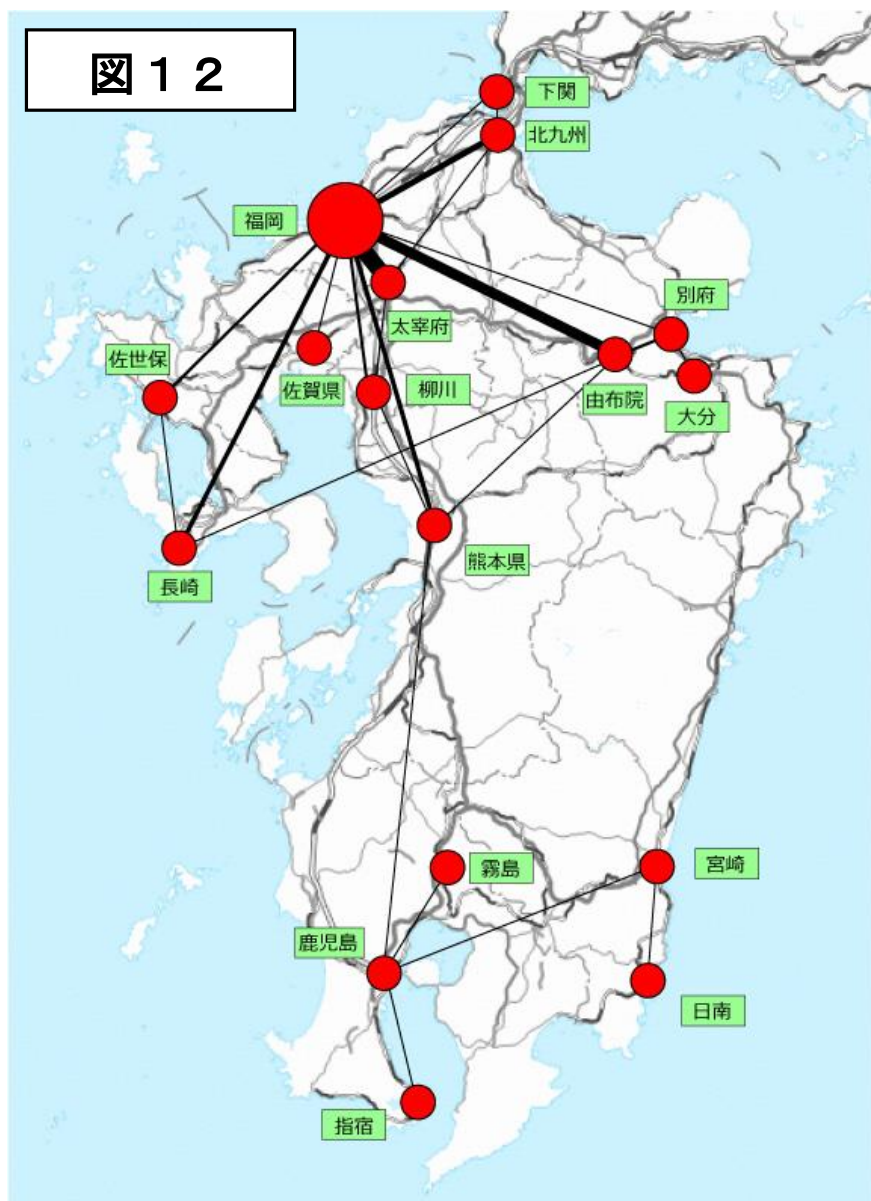


## 【平均宿泊日数】

- 台湾人個人観光客の平均宿泊日数は 5.48泊
- 韓国の2倍以上

# 福岡空港から入国する台湾人観光客の主要観光ルート

図 1 2



## 【主要観光ルート】

- 福岡都心部のみ
- 福岡都心部～由布院
- 福岡都心部～大宰府
- 福岡県～大分県～長崎県
- 福岡県～大分県～熊本県  
など

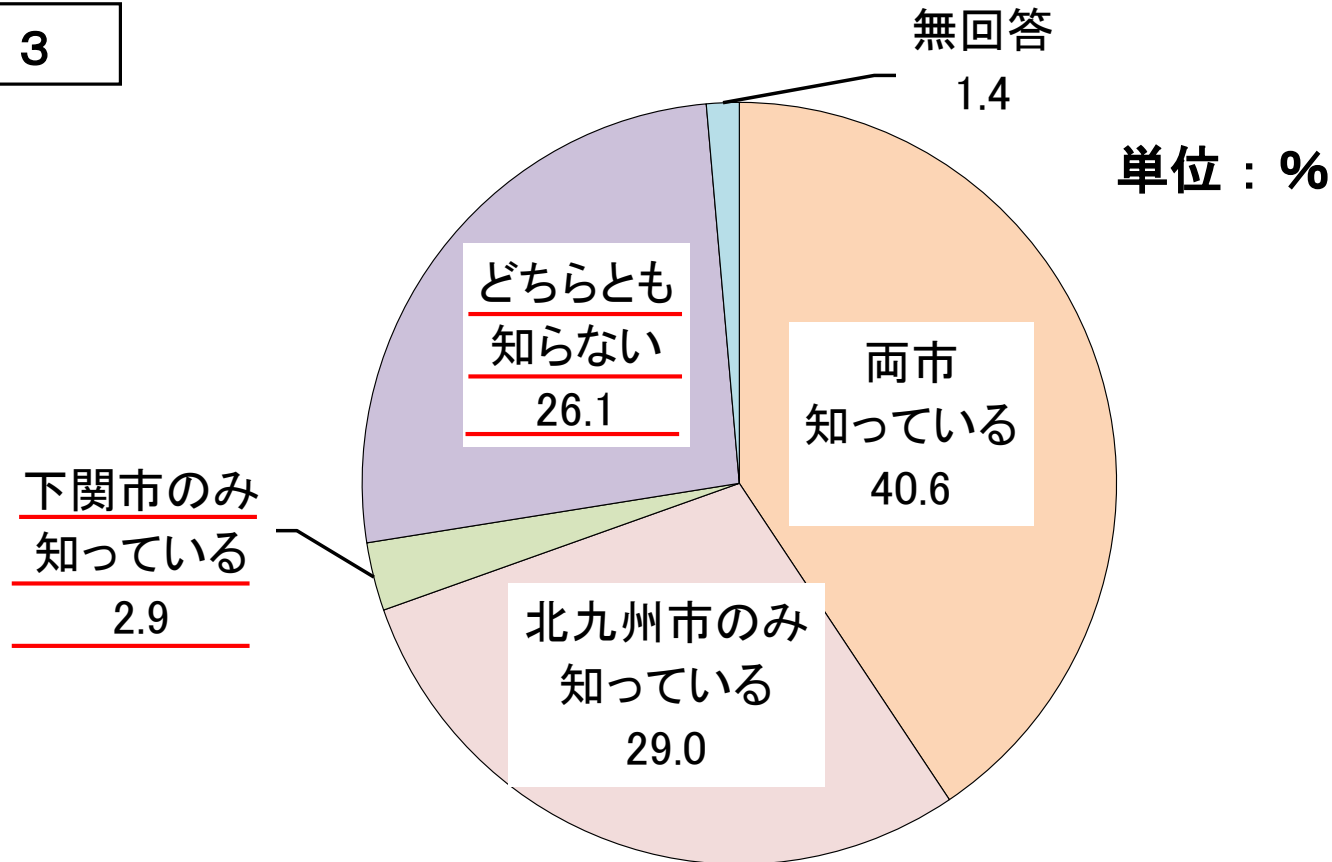
※ 平均5.48泊の旅行の中で、福岡都心部に連泊し、日帰りで九州各都市を巡っている観光客も多い。鹿児島県でも同様の傾向。



# 北九州市・下関市の認知度

(調査場所：福岡空港)

図 1 3



●本市を知らないが、29.0%  
(参考：韓国 57.5%)

# 北九州市・下関市を訪れた台湾人観光客の属性

図 1 4

性別 × 年齢

■ 男性 ■ 女性



【年齢 × 性別】

- ① 30代女性 : 21.4%
- ② 30代男性 : 17.6%
- ③ 20代女性 : 17.2%
- ④ 20代男性 : 10.6%

# 九州及び北九州市・下関市への訪問回数

○九州への訪問

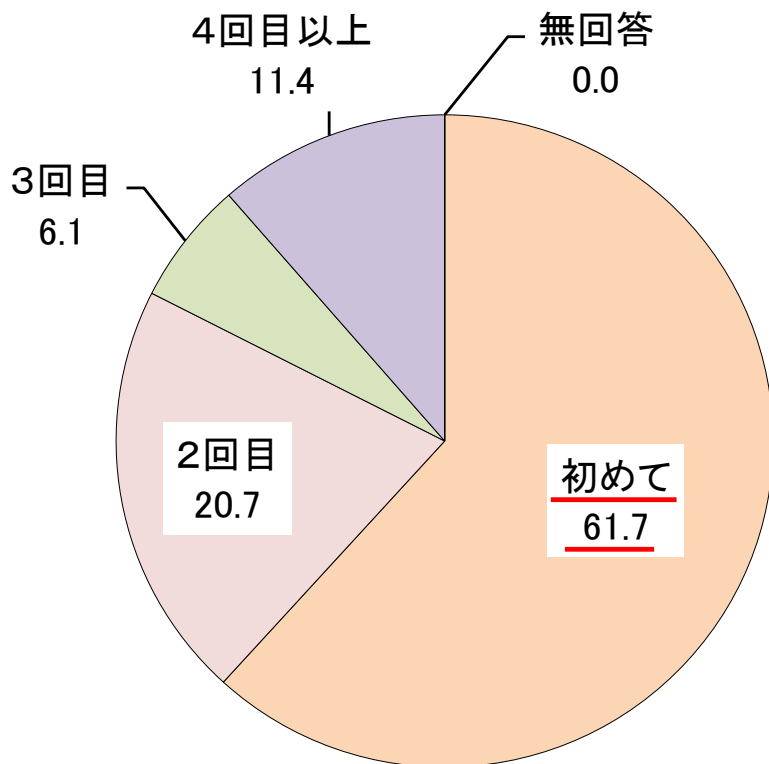
初めて：61.7%、2回以上：38.2%

○北九州市・下関市への訪問

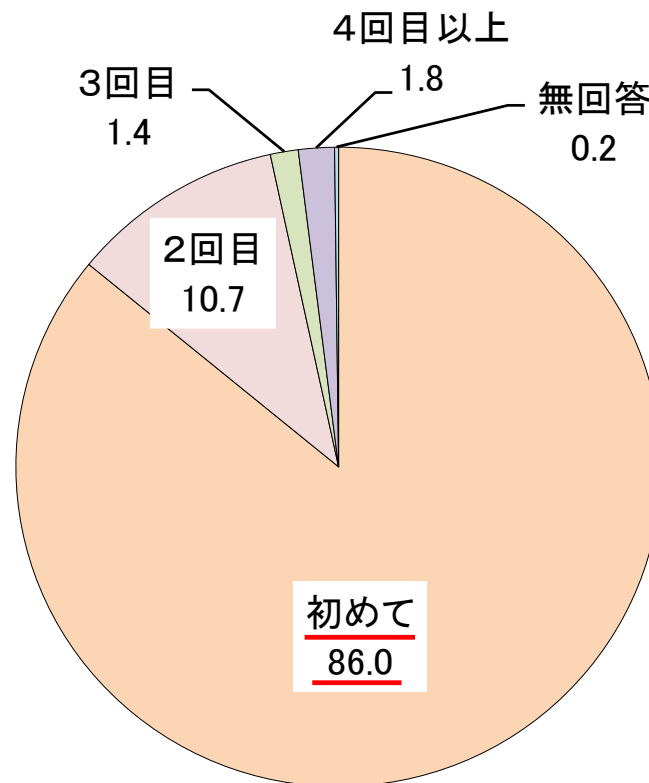
初めて：86.0%、2回以上：13.9%

図15

単位：%



【九州への訪問回数】



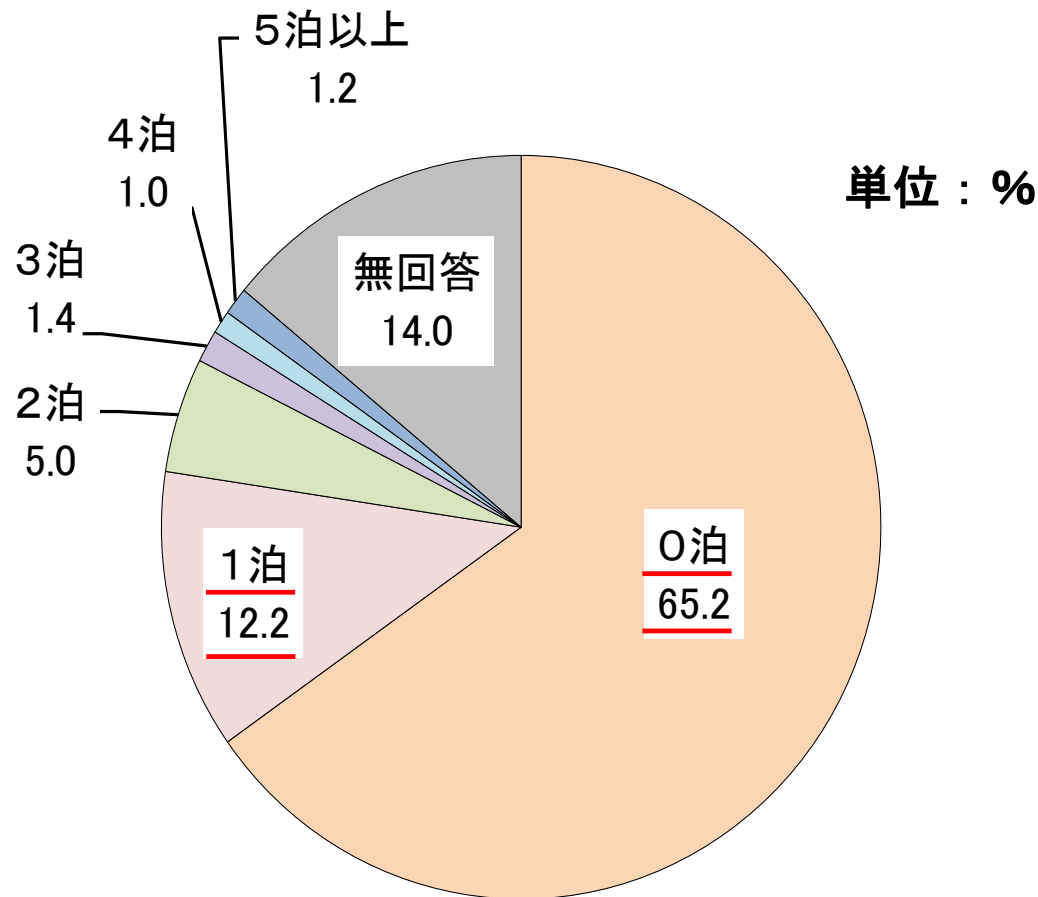
【北九州市・下関市への訪問回数】

# 北九州市・下関市での宿泊数

○九州を訪れた旅行客の平均宿泊数：5.48泊

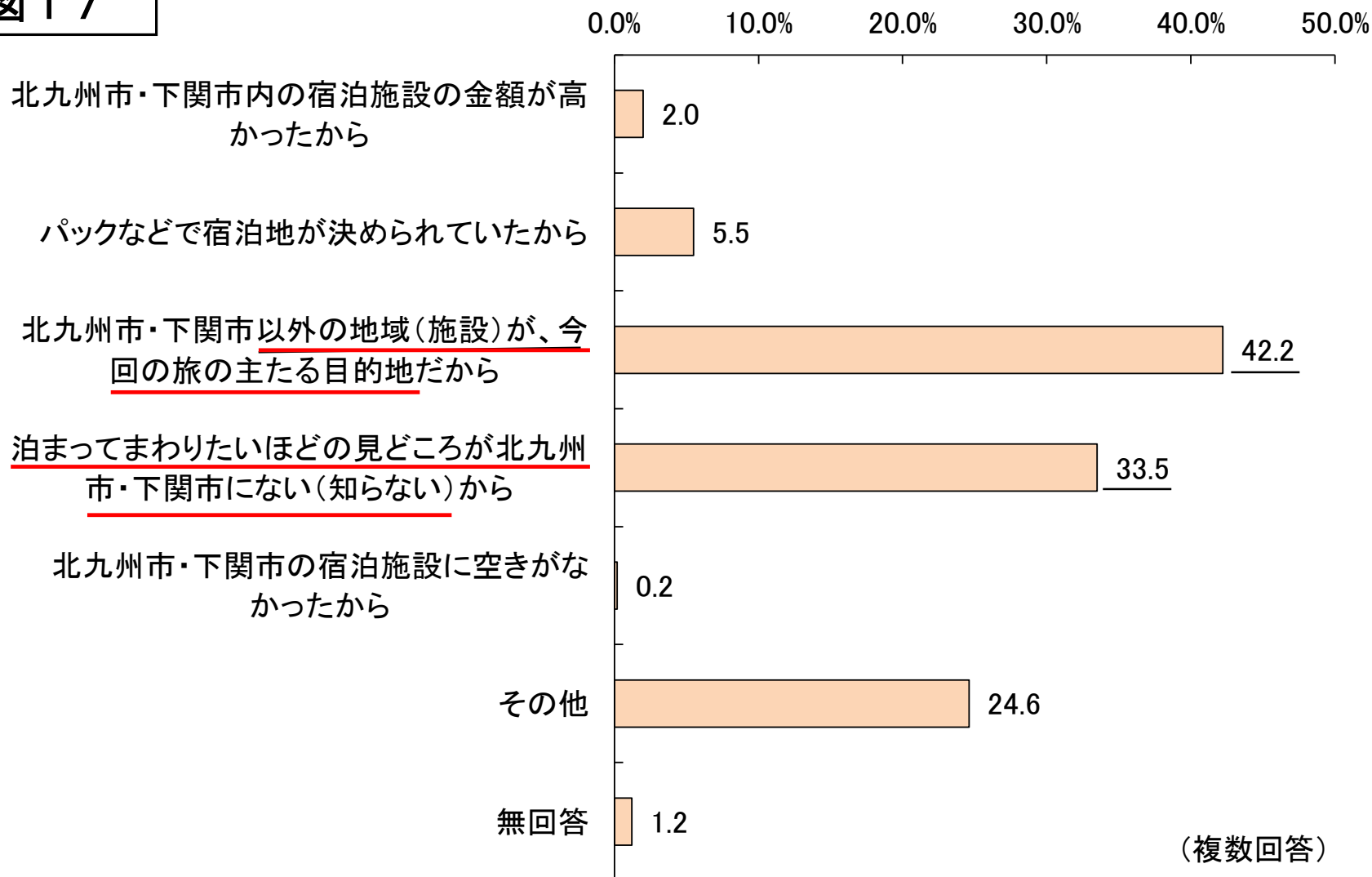
○北九州市・下関市での宿泊数：0泊は65.2%、1泊が12.2%

図 1 6



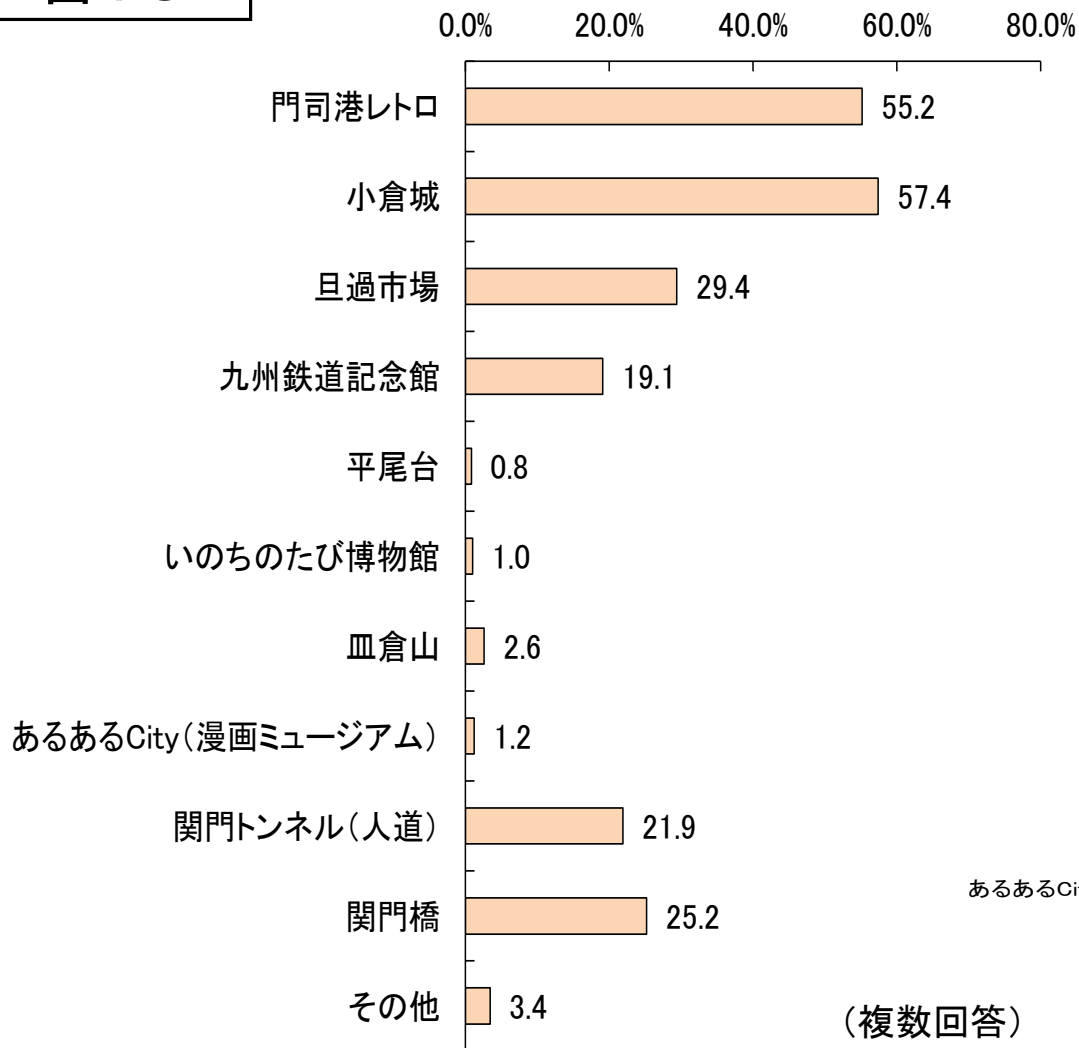
# 北九州市・下関市で宿泊しなかった理由

図 17

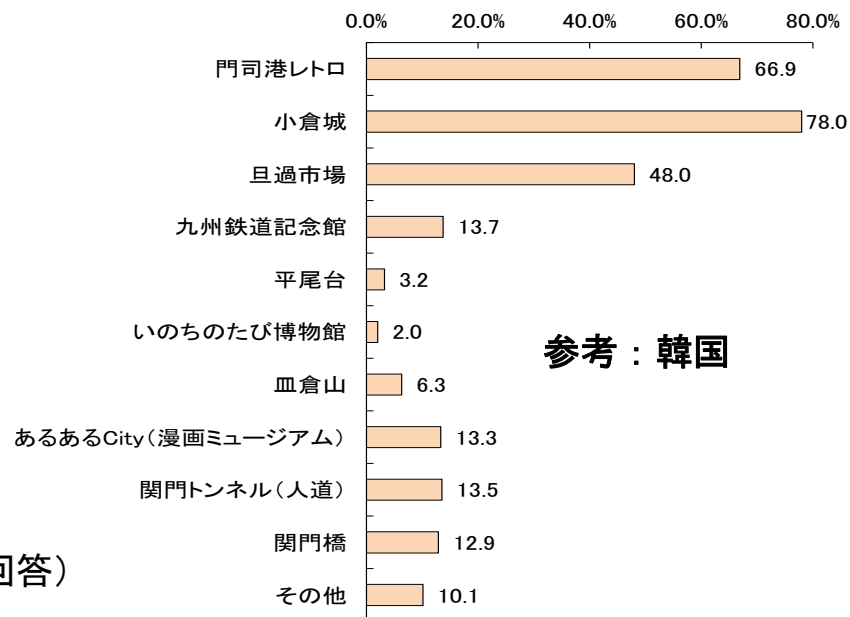


# 今回の旅行で訪れた観光地（北九州市）

図 18



●韓国よりも、門司港レトロ、小倉城の訪問率が低く、関門橋、九州鉄道記念館、関門トンネル人道の訪問率が高い。



参考：韓国

# 1人1回（旅行）あたりの旅行支出額（北九州市・下関市）

図19

（単位：円）

	宿泊客	日帰り客	備考
宿泊費	11,467		
飲食費	6,313	3,562	
入場料	759	556	
買物・土産代	11,662	4,258	お菓子、薬、洋服等
その他の費用	1,157	1,148	
合計	31,358	9,524	

○宿泊数が少ないため、韓国よりも旅行支出額が少ない。  
（参考：韓国宿泊客：45,329円）

# 台湾向けプロモーションの方向性

調査から分かったこと	今後の方向性
北九州市を初めて訪れる観光客が多い。	・ 台湾人観光客に関心が高いコンテンツをはじめ、本市の多種多様な魅力ある観光資源を情報発信 (関門トンネル人道や九州鉄道記念館など)
旅の主たる目的地になっていない。	
九州での平均宿泊日数5.48泊 (韓国の2倍)	・ 北九州～台湾便の活用 ・ 交通の結節点である本市の地の利を活かす。 ⇒ 本市を拠点として、福岡県内をはじめ、大分県、山口県、広島県等を加えた周遊コースを提案。 ⇒ 旅行日数が長い台湾人観光客を取り込み、宿泊日数の増加を図る。 ⇒ 観光消費額の増加。
しかしながら、北九州市・下関市では日帰りが多く、滞在が短いため、韓国よりも旅行支出額が少ない。	
直行便の就航都市を拠点として、周辺都市を周遊する傾向がある。	

⇒ 北九州～台湾便を活用し、

「福岡・大分・山口などへの周遊拠点」へ